

コース名		科目名			対象学年		
臨床医学		皮膚系			3		
開講学期		科目責任者		副責任者			
1 学期		青山 裕美		田中 了			
目的							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的な医学知識と医療技術の修得のために皮膚科学分野の専門領域を理解すること。 ・ DP3 達成のために高度な医療、医科学を理解することが本科目の目的である。 ・ 臨床の現場で、目の前にいる患者の皮疹を診察し、症候から病態を想像し、確定診断と治療法の選択するための知識の基盤をつくるのに必要な科目である。 							
授業到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 皮膚を構成する細胞を挙げ、皮膚の構造と機能を説明できる。 2. 代表的な発疹を列挙し、それらが出現する主な疾患を説明できる。 3. 主要な皮膚疾患の病態生理を理解し、検査、診察のすすめ方を説明できる。 4. 母斑・神経皮膚症候群、皮膚腫瘍の症状、検査、治療法を説明できる。 5. 主要な皮膚感染症の症状、検査法、治療法を説明できる。 6. 重要な皮膚疾患の皮膚病理組織所見を説明できる。 							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	4/ 5	金	1	講義	青山	皮膚	皮膚の構造と機能 皮膚の免疫機構：免疫反応の基礎、免疫担当細胞、アレルギー反応、 湿疹・皮膚炎
2	4/ 5	金	2	講義	青山	皮膚	アトピー性皮膚炎、蕁麻疹・紅斑症・薬疹
3	4/ 9	火	1	講義	青山	皮膚	水疱症・膿疱症（1）：天疱瘡、膿疱症 好中球関連疾患、医療関連法規（指定難病と医療費助成制度）
4	4/ 9	火	2	講義	馬屋原	皮膚	後天性角化症：炎症性角化症、非炎症性角化症
5	4/17	水	3	講義	田中了	皮膚	皮膚の悪性腫瘍（1）：基底細胞癌、有棘細胞癌、日光角化症（光線角化症）、Bowen 病、白板症、ケラトアカントーマ
6	4/17	水	4	講義	田中了	皮膚	皮膚の悪性腫瘍（2）：乳房外パジェット病、血管肉腫、菌状息肉症
7	4/22	月	1	講義	深松	皮膚	代謝異常症：ビタミン、ポルフィリン症、糖尿病、アミロイドーシス、ムチン沈着症、黄色腫、電解質、色素異常症
8	4/22	月	2	講義	深松	皮膚	膠原病および類縁疾患 医療関連法規（指定難病と医療費助成制度）
9	5/ 2	木	5	講義	田中了	皮膚	母斑と神経皮膚症候群
10	5/ 2	木	6	講義	田中了	皮膚	皮膚の良性腫瘍、皮膚外科：切除・縫縮術、植皮術、皮弁形成術
11	5/ 9	木	3	講義	山本剛	皮膚	細菌感染症
12	5/ 9	木	4	講義	山本剛	皮膚	性感染症、節足動物などによる皮膚感染症
13	5/15	水	1	講義	山本剛	皮膚	ウイルス感染症（1）：水疱を主体とするもの 医療関連法規（学校感染症と出席停止基準）
14	5/15	水	2	講義	山本剛	皮膚	ウイルス感染症（2）：疣贅、全身性の皮疹を主体とするもの（付）シミュレーション授業の説明
15	5/24	金	1	講義	杉山聖	皮膚	物理化学的皮膚障害・光線性皮膚疾患
16	5/24	金	2	講義	杉山聖	皮膚	真菌症、抗酸菌感染症
17	5/31	金	5	講義	杉山聖	皮膚	水疱症・膿疱症（2）：類天疱瘡、遺伝性水疱症 遺伝性角化症 医療関連法規（指定難病と医療費助成制度）シミュレーション教育の説明
18	5/31	金	6	講義	田中了	皮膚	皮膚の悪性腫瘍（3）：悪性黒色腫（メラノーマ）、行動経済学入門（皮膚悪性腫瘍患者に対する対応）
19	6/ 4	火	1	講義	馬屋原	皮膚	血管炎・紫斑・その他の脈管疾患：血管炎と紫斑・その他の脈管疾患 医療関連法規（指定難病と医療費助成制度）
20	6/ 4	火	2	講義	馬屋原	皮膚	付属器疾患（汗腺、脂腺、毛髪、爪の疾患）、真皮、皮下脂肪組織の疾患

21	6/11	火	3	実習	塩見	病理	皮膚病理組織実習 重要な皮膚疾患の皮膚病理組織所見を図示し、用語をつけて説明できるかレポート評価する。
22	6/11	火	4	演習	青山	皮膚	発疹学・ダーモスコピー：シミュレーション教育 授業で使用した画像を用いて、発疹の用語が正しく使用できているか小テストで確認する。
評価方法							
[期末試験]95% (各講義の到達目標を達成できているかを期末試験(筆記試験)で評価する。)							
[レポート]5% (重要な皮膚疾患の皮膚病理組織所見を図示し、用語をつけて説明できるか評価する。)							
[評価方法]論文・レポート							
[備考]必要な場合は本試験と同等の難易度の補充試験を実施する。							
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて							
病理レポート提出は必須とし、レポート全体に対して一括した評価をフィードバックする。							
教科書							
ISBN-9784521733647, あたらしい皮膚科学 第3版, 清水 宏, 中山書店, 2018							
参考書							
ISBN-978-4521742618, あたらしい皮膚病診療アトラス, 清水 宏, 中山書店, 2015/08							
ISBN-9784830604744, 病理組織マップ&ガイド, 深山 正久(編集), 文光堂, 2014/05/01							
準備学習(予習・復習等)							
毎回の講義で配布される self assessment quiz に解答できるよう教科書(あたらしい皮膚科学)を読み、復習すること。全講義を通し、講義内容の予習をおこなうこと。特に、第23回演習では事前に配布される画像をみて発疹名を口頭で表現できるよう予習すること(21回に説明あり)。予習・復習ともに20分程度の時間を要する。							
講義についての注意事項							
各講義の初めに到達目標が示される。共用試験、国家試験に合格するためには時間外学習が必須であり、全体資料・配布資料は教科書とあわせて参考資料として利用すること。 皮膚病理組織実習はマルチメディア教室(M710)で行う。病理実習用レポート用紙と色鉛筆を準備すること。							
昨年度からの変更点・改善項目							
皮疹のみかたの小テストが2023年から新設されました。							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について							
4年次学修科目の症候論や臨床病態論の他、臨床実習開始のために必要な医学知識を習得し臨床医科学を理解する。 この科目は、主としてコンピテンスのⅢ. 医学と関連領域の知識の 1. 人体各器官の正常な構造と機能を説明することができる。2. 全身に及ぶ生理的变化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明することができる。3. 病態から臨床症状、診断方法や治療方法を説明することができる。4. 誕生から発達・成長・加齢・死までの心理的背景の推移を説明することができる。の達成に向けて設定されている。							
ナンバリング							
DFIN303							